

2024 年度
日本人権教育研究学会

The Japanese Association of Human Rights Education
and Research

第 22 回 研究大会プログラム

大会テーマ：今一度学習権について考える
特別支援教育の視点から

2024 年 12 月 26 日（木）

於：帝塚山大学
学園前キャンパス 18 号館

第 22 回 研究大会プログラム

1. 期 日 2024 年 12 月 26 日 (木)
2. 会 場 帝塚山大学 学園前キャンパス (18 号館)
631-8585 奈良県奈良市学園南三丁目 1 番 3 号
近鉄奈良線学園前駅下車 徒歩 3 分
3. 主 催 日本人権教育研究学会
4. 後 援 国立大学法人兵庫教育大学, 帝塚山大学
兵庫県教育委員会, 奈良県教育委員会
5. 大会テーマ 今一度学習権について考える
特別支援教育の視点から
6. 大会参加費 2000 円 (学部生, 大学院の院生は 1000 円。但し現職派遣教員は除く)
*当日, 受付にて現金でお支払いください。
7. 日 程

9:00	9:25	12:00	13:30	15:45	16:00
受付	自由研究発表	理事会 総会	シンポジウム	閉会	

8. 連絡事項

- 受付にて入構ステッカーをお渡しします。見える部分に貼っていただきますようお願い申し上げます (再入構の際も必要です)。
- 学会誌『人権教育研究』を, 受付にて販売しております。ご入用の方は, 受付までお申し出ください。
- 非会員の方はこれを機会に入会をお勧めしております。入会をご希望の方は, 受付までお申し出ください。
- 昼食は, 近隣の飲食店をご利用ください。また, 昼食を持ち込まれる場合は, 18 号館 1 階の TEZUKAYAMA CAFE (学生食堂) をご利用ください。
- *大会当日は, CAFE の営業はなく, 座席のみのご案内となりますのでご注意ください。

大会スケジュール

■ 自由研究発表 9:25～12:00・運営及び進行の説明 9:25～9:30

【第1分科会】18311 大講義室

司会 菅原 雅史(西宮市立広田小学校)

発表(1) 9:30～9:55

水平社宣言と日本国憲法との関連に着目した小学校社会科授業の開発
－水平社運動と現代社会とのつながりの認識をめざして－

松浪 軌道(帝塚山大学)

発表(2) 9:55～10:20

戦後同和教育運動の分断を生成したイデオロギー的相克
－部落問題認識, 同和教育認識に着目して－

板山 勝樹(名桜大学)

発表(3) 10:20～10:45

「偏見の植え付けへの予防接種」の視点からの部落問題学習
－「小学校6年歴史学習における『穢多』を取り上げた授業構想」－

笠原 嘉治(中村学園大学)・清水 浩一(福岡市立高取小学校)

久保田 篤(福岡市立香椎浜小学校)・中村 健一郎(福岡市立玉川小学校)

森 邦康(福岡市立千早小学校)・野口 陽平(福岡市立福浜小学校)

発表(4) 10:45～11:10

日米英豪の大学における人権教育の実践
－人権教育が直面している課題－

高松 美能(東北大学)

発表(5) 11:10～11:35

昼間二部定時制課程の高校における教師たちと生徒たちの関わり
－ケアリングの関係性から－

森川 与志夫(奈良教育大学)・小南 昌紀(特定非営利活動法人フードバンク奈良)

発表(6) 11:35～12:00

児童学, 児童の権利研究の基礎として
－隣接諸科学との関連性にも言及しつつ－

小田桐 忍(聖徳大学)

【第2分科会】18312 小講義室

司会 岩本 剛(たつの市立東栗栖小学校)

発表(1) 9:30～9:55

子どもの学習権を保障する就学相談

植田 真夕子 (北海道教育大学旭川校)

発表(2) 9:55～10:20

問題行動が見られる子どもの行動変容を促す新たな視点
－指導を成立させる教師の専門性－

田中 克人 (広島文化学園大学)

発表(3) 10:20～10:45

保育者の役割と多職種連携

中川 陽子 (大阪成蹊短期大学)

発表(4) 10:45～11:10

小学校6年生を対象とした「性の多様性」に関わる人権教育の成果と課題
－授業の振り返りと質問紙調査における人権意識の変化に着目して－

菅原 古鞠 (上智大学)

発表(5) 11:10～11:35

身体拘束から考える認知症高齢者の人権調整・人権制約

山本 克司 (安田女子大学)

発表(6) 11:35～12:00

中学生の学校参画

－生徒会役員と大学生の意見交流会を手立てとして－

樋口 豊隆 (明星大学) ・大川 純平 (明星大学:学生)

○自由研究発表は、発表時間が20分間、質疑応答が5分間となります。

○ベルは15分で1鈴、20分で2鈴、25分で3鈴が鳴ります。

○発表前に資料を配付させていただきます。お手元がない場合は、お近くの係の者にお声かけください。

■ シンポジウム 13:30~15:45 18311 大講義室

シンポジウムテーマ

「今一度学習権について考える 特別支援教育の視点から」

2016年「障害者差別解消法」が施行され、国や地方公共団体に合理的配慮の提供が義務付けられました。また、2024年4月には「改正障害者差別解消法」が施行され、事業者にも合理的配慮の提供が義務付けられました。

本学会では、第11回（2010年度）、第17回（2016年度）の研究大会において特別支援教育の充実をめざして議論したところでもあります。

今年度のシンポジウムでは、特別支援教育の視点から一人ひとりの教育的ニーズに応じ、将来の自立や社会参加を視野に入れた学びのあり方を議論することで、今一度学習権の保障について考えていきたいと思います。

シンポジウムは、次の3点を柱として行います。

1 就学支援委員会と学びの場、教育内容の保障をどのようにつなぐか。

(1) 学びの場と教育内容の保障の選択をどうするか。

(2) 就学支援委員会の取組の成果をどう考えるか。

(3) 就学支援委員会の取組の課題をどう考えるか。

2 小学校、小学部における学びの場と教育内容の保障

(1) 小学校、小学部における学びの場と教育内容の保障の成果をどう考えるか。

(2) 小学校、小学部における学びの場と教育内容の保障の課題をどう考えるか。

(3) 卒業時の進路保障の成果と課題をどう考えるか。

3 中学校、中学部における学びの場と教育内容の保障、進路保障

(1) 中学校、中学部における学びの場と教育内容の保障の成果と課題をどう考えるか。

(2) 中学校、中学部における進路保障をどう考えるか。

(3) 教育行政の立場からの学びの場と教育内容の保障、進路保障をどう考えるか。

【シンポジスト】 広島文化学園大学准教授 田中 克人
奈良教育大学教職大学院教授 山本 敏久
兵庫県三木市立平田小学校教諭 薬内 要
奈良県葛城市立磐城小学校教諭 島本 勇輝

【指定討論者】 岐阜聖徳学園大学教授 安田 和夫

【コーディネーター】 兵庫教育大学名誉教授 米田 豊